

津島高等学校人権だより

津高人権委員会



# ひゅーまんらいつ

令和2年第5号

## アイヌ問題はアイヌ人の問題ではなく、私たちの問題

右の画像は2020年5月7日のニュースで報道された菅総理の官房長官時代の記者会見時の画像です。菅さんが付けているマスクの模様注目してみましょう。

この模様は、アイヌ文様の一つでモレウ(渦巻)と呼ばれています。モレウはアイヌの言葉で、モはゆっくり、レウは曲がるという意味で、力(パワー)を表現しているそうです。このアイヌ文様のルーツについては、様々な説があり、北海道の縄文時代の土器の模様や、サハリンの民族の模様とも似ているが発祥は不明とされています。そのような中でこの文様は代々アイヌ民族の人々の間で受け継がれてきました。

菅さんはこのマスクについて「刺しゅうの文様には病気を体に入れないという魔除けの願いがこめられている。」と述べ、このマスクを記者会見で着用したことについては、「お守りを兼ねて、アイヌ文化の発信に資するため。」と語っています。マスクの送り主は北海道登別市のアイヌ民族の住民だそうです。

【「アイヌ」とは「人間」を意味する】

アイヌ民族とは、北海道を中心とした地域に居住していた先住民のことです。アイヌの人々は、狩猟や漁労を中心とする暮らしを営む中で、独自の言語であるアイヌ語や、自然との共生を基本とした信仰や風俗習慣、ユーカラ(英雄叙事詩)などの固有の文化をはぐくんできました。

アイヌとは「人間」を意味します。アイヌ民族には、自然や動物など「自分たちに役立つもの」や「自分たちの力の及ばないもの」を神(カムイ)とみなし、日々の生活の中で祈り、様々な儀礼を行いました。そういった神に対して人間のことを「アイヌ」と呼びます。

明治時代には、同化政策(国が、先住民または国内少数民族の固有の言語、文化、生活様式などを廃止して、自国民に同化させようとする政策。)によりアイヌ民族の生活習慣は全て禁止され、「日本人」の生活習慣を強制されるようになります。明治後半になると、本州からの移住が増え、これまでのアイヌ民族に対する抑圧・搾取に代わって「差別」が生じ大きな社会問題となっています。(『人間の輪』39ページ参照)

平成25年の内閣府大臣官房政府広報室「アイヌ政策に関する世論調査」では「アイヌの人々に対して現在は差別や偏見がなく平等であると思いますか」という設問に対し、「平等ではないと思う」、「どちらかという平等ではないと思う」を合わせ約3分の1にのぼる回答がありました。現代の日本社会に同じ国民であっても、まだ、アイヌ民族に対する偏見や差別は残されています。

この意識調査の中で「差別の原因・背景は何か」との問いに対し、「アイヌの歴史に対する理解の不十分さ」が挙げられています。またその他の回答に「学校教育の中でアイヌに対する理解を深める取組が不十分である」という答えもあったそうです。北海道の歴史、開拓以前の歴史、同化の歴史を学習し、民族は多様であることを再認識し、内地(本州)の歴史だけで日本が成立している訳ではないということ、



デジタル毎日(毎日新聞)画像より

もう一度考えていく機会を持ちましょう。アイヌ問題は、アイヌ人の問題ではなく日本人の問題として捉えることが大切です。

### 【豊かなアイヌ文化】

菅さんのマスク文様にも見られるように、アイヌの伝統文化はアイヌ民族としての誇りの源泉であり、これはアイヌの人々の人権を尊重するという観点からも重要なことと考えられています。北海道ではアイヌ語の復興、伝統文化などの独自の文化の伝承、保存活動も活発となり、北海道各地にアイヌ語教室が開かれるとともに、イヨマンテ(神にささげる熊の祭り)などの儀礼が復活しています。

アイヌ民族に関する正しい理解や認識の不足により、いわれのない差別や偏見が生じることがないように、アイヌ民族の歴史や伝統文化について改めて学習することも大切です。

### 【ニ風谷(にぶたに)アイヌ巧(たくみ)の道】

札幌から苫小牧に向かって1時間 50分ほど車で走ると、平取町(びらとりちょう)、ニ風谷(にぶたに)というアイヌの伝統文化を継承する町に到着します。ここでは、アイヌの言葉や舞踊、生活用具等が伝承されており、特にアイヌ工芸品の「ニ風谷イタ」(お盆)「ニ風谷アットウシ」(樹皮の反物)は2013年に経済産業省の伝統工芸品に北海道で初めて指定され、アイヌの生活様式や精神性と合わせて、あらためてアイヌ文化に対する関心が高まっています。

#### ニ風谷で創られているアイヌの工芸品や職人



ニ風谷(にぶたに) 関根真紀(せきねまき)  
祖母の代よりアイヌの伝統文化や工芸にふれながら育ち、自然に心惹かれて技術を身につけた。より多くの人たちにアイヌ文化を知ってもらいたいと、多彩な作品を手がけている。  
(画像、記事「ニ風谷アイヌ巧の道」HPより)

アイヌの文様が彫られたお盆  
ニ風谷(にぶたに)イタ

樹皮から作られた反物  
ニ風谷(にぶたに)アットウシ

### 【検索してみてね!!】

- ◎ ニ風谷の関根真紀さんは、俳優の井浦新さんプロデュースのファッションブランド、ELNESTのアイテムにアイヌ文様をデザインするなどの活動もしています。昨年の9月には、東京・新橋のギャラリーで個展も開催しました。アイヌの文化を広めていく活動に意欲的に取り組まれています。
- ◎ 2020年7月には、新たに北海道白老町に国立アイヌ民族博物館もオープンしました。この民族共生象徴空間はウポポイという愛称で呼ばれて新たにアイヌ文化について学ぶ場所となりました。

### 【今回のテーマについてあなたはどのような事を感じましたか?】




ウポポイ  
マスコットキャラクター  
トウレツポん



( )年( )組( )番 氏名( )